

訓練計画（訓練種目・内容）

記載例 ※内容は自由に構成してください。

時 間	訓 練 種 目	参 加 者	訓 練 内 容	備 考
6:30	情報伝達訓練	学区防災防犯協会	各種媒体、地域の連絡網を使い、訓練開始の情報伝達を行う	必要事項や必要資器材の記入
6:35	広報訓練	消防団	地域役員、消防団などと協力し、地域住民に避難広報を行う	
	安否確認訓練	学区住民	地域住民の住居を見回り、安否の確認を行う	
	近隣退避場所への避難訓練	学区住民	あらかじめ地域で定められた場所へ避難。（非常持出品の確認）	
7:00	避難・誘導訓練	学区防災防犯協会 警察官・交通指導員	近隣退避場所から避難場所へ住民・災害時避難行動要支援者の避難・誘導を行う。	
	避難所開設訓練	学区防災防犯協会	避難してきた住民がファーストミッションボックスを使用して、避難所開設を行う。	訓練種別をドロップダウン選択すると、訓練内容が自動入力されます。
	応急危険度判定訓練	岡崎市 愛知建築士会岡崎支部 愛知県建築士事務所協会	応急危険度判定士による応急危険度判定を行う	
	避難所運営訓練（受付）	学区防災防犯協会 地域支援員	避難所の早期開設のための準備、避難所利用者登録票、健康状態チェックシート、ペット登録台帳の記載等を行う	
8:00	防災ラジオメッセージ放送訓練	全員	防災ラジオの緊急割込み機能を使用し、緊急情報の放送を行う	
8:05	被害・避難状況報告訓練	学区防災防犯協会 地域支援員	避難場所へ避難後、町内会で避難人員・被害状況を取りまとめ報告を行う	
	救助救出訓練	岡崎警察署	身近にある道具や防災備蓄倉庫にある資機材で救出を行う	
	炊き出し訓練	学区住民 女性防災クラブ	食料等の調理方法と配給方法について実践を行う	
	初期消火訓練	消防団 消防署	火災の拡大を防ぐため、初期段階での消火方法を実践を行う	
	土のう工法訓練	学区住民 土木災害安全協力会	堤防から漏水があった場合や内水氾濫による浸水を防ぐため、土のうを積んで水を溜める方法の実践を行う	
	応急手当訓練	消防団 女性防災クラブ 学区防災防犯協会	災害時にけがをした避難者に対して応急手当を行う。また、心肺停止した避難者の救命処置を行う	
	防災備蓄倉庫資機材取扱い訓練	学区防災防犯協会	防災備蓄倉庫内の資機材を確認し、実際に使用することで使用方法、組み立て方法を実践を行う	
9:00	シェイクアウト訓練	全員	地震を想定して参加者が一斉に安全行動（1-2-3）を行う。	
9:15	講評・来賓紹介		講評及び来賓紹介	